

市史編さん室 事務局活動報告

(平成三十一年一月～令和元年一二月)

Ⅰ 古文書等調査報告

一 古文書等調査の概況

市史編さん室では、各専門部会活動の資料とするため、市内にある古文書等の歴史史料について、目録作成・写真撮影等の基礎的な調査を行っている。

平成三十一年(二〇一九)一月から令和元年一二月の間に、一四件の文書群(約四、一〇〇点)について調査を終えた(一部を除き、次項にそれぞれの文書群に関する解説を付した)。これにより、平成一九年度から約一九〇件(総点数約六万二、〇〇〇点超)の調査を終えたこととなる。なお、一二月末の段階で、三二件

(四万八、三〇〇件)の史料群を借用している。他に、熊谷市で所蔵している八件(二万八、〇〇〇件)や市外の史料保存機関等で所蔵している古文書等についても、随時調査を行っていく予定である。

なお、令和元年七月三〇日に、堀越菊江氏から堀越元雄氏収集文書の寄附受け入れの依頼があった(調査終了文書の紹介は『熊谷市史研究』第二号、平成三二年)。熊谷市では、八月八日に寄附受け入れを行い、文書類は妻沼展示館内で保管していくことになった。

(文責 小林久美子)

二 調査終了文書の紹介

新座市 宮瀧交二氏収集資料 一六三・三六三

平成三〇年一月に借用した絵葉書類である。宮瀧交二氏は熊谷市史古代専門部会長であり、本文書群は同氏のコレクションの中から熊谷に関連した絵葉書を借用して調査したものである。本文書群の一部は同氏自身で『熊谷市史研究』にコラムとして紹介されている（第四号（平成二四年）から本号までの毎号に連載）。併せて参照していただきたい。本文書群は、近代熊谷の絵葉書として大変貴重である。

本文書群は、調査を終えた後、平成三一年三月に所蔵者へ返却した。

（文責 水品 洋介）

西城 茂木昭夫家文書 二二八・二八二

平成二八年八月に借用した近世・近代文書である。茂木家は西城村の旧家で、江戸時代から明治初期まで村役人を務めた。文書群のうち一五〇点超が江戸時代中後期に作成された写本である。平家物語・太平記等の軍記物や、論語を始めとした四書とその解釈本が多い。ほとんどが当時の当主茂木五郎左衛門吉行によるもので、中に

は、永く子孫に伝え、家の繁栄を願う作成したと巻末に記しているものもある。ほぼ一代で多数の写本を残した背景には、家門の安寧を願う強い思いがあったことがうかがえる。江戸時代の文書では、文政一〇年（一八二七）の江袋溜井洗堰一件の裁許状写や、元治元年（一八六四）の年貢取立帳等がある。他に、妻沼地域の絵図や寛政期の西城村の詳細な絵図等もあり貴重である。また、慶応四年（一八六八）一〇月に武蔵知県事山田一太夫配下から過去五年分の年貢割付や名寄帳などの提出を求める廻状の写し等もあり、幕末から明治初期の混乱した時代に村の実務に携わっていたことがわかる。近代文書には、茂木家の家業や家政に係わる文書、明治末期から大正期の教科書類が見られる。

本文書群は、調査を終えた後、平成三二年三月に所蔵者へ返却した。

（文責 小林久美子）

石原 塚越忠良家文書 四〇二・二二二

平成二九年二月、令和元年五月、及び同年一〇月に借用、令和元年一〇月に現地調査を行った近世・近代文書である。本文書群は、近世二九点で、それ以外は明治期

以降の文書であるため、大半が近代文書といえる。歴代当主には、熊谷町の町会議員であった塚越祐三郎がいる。初見は元禄一六年（一七〇三）の護身法である。近世は他に、江戸中期から後期にかけての奉公人請状、借用証文、質地証文などがある。近代は、行政資料として荒川北縁堤防第一水防区書類綴や、刊行物ではあるが、大正一五年（一九二六）発行「熊谷大火災誌」、昭和八年（一九三三）「市となるまで」などが戦前の熊谷の概況を示すものとして貴重である。また、書画が散見する。これは祐三郎の代に収集したものが多く、熊谷関係では箱田出身の書家権田春潮、蜂須鳳洲、近隣では市川市月、森宗二（東古）などの作品が確認できる。本文書群は、近代熊谷の行政・文化の一齣として貴重である。

本文書群は、調査を終えた後、令和元年五月及び令和二年三月に所蔵者へ返却した。

（文責 水品 洋介）

万平町 田島武家文書 三点

令和元年七月三日に借用した近代文書である。このうち二点は明治四一年（一九〇八）作成の堤外く通りとま

通りの絵図で、一筆ずつの所有者と地番、面積が記されている。所有者には、田島家当主武兵衛の他に、黒田小源治や竹井耕一郎、松本平蔵等の名前が見られ、明治後期には、堤外の土地を熊谷町の有力者等が所有していたことがわかる。もう一点は明治三九年（一九〇六）に作成された家相図で、筑波町にあつた屋敷の間取りと方位が描かれている。当時の熊谷における町家の造りの特徴を知ることができる。調査後、七月に所蔵者へ返却した。

（文責 小林久美子）

三ヶ尻 篠田美登里家文書 一二四点

平成二九年五月及び七月に借用した近世・近代文書である。本文書群は、近世七四点で、それ以外は明治期以降の文書のため、近代文書が過半数を占める。初見は、享保二〇年（一七三五）「雄帷図伝口決」である。本文書群は、近世から近代にかけて田中神社の宮司を務めた篠田家に伝わったもので、神職関係が大半である。文政五年（一八二二）、田中神社の由来記をはじめ、次第や祝詞、口伝、奉祈願などがある。また、明治四年（一八七一）

の復飾に際しての関係資料が散見する。詳細は今後の課題だが、神仏分離令により復飾する際の動向として注目されよう。

本文書群は、平成二九年七月及び令和元年九月に所蔵者へ返却した。

(文責 水品 洋介)

深谷市奥田豊氏収集文書(追加分) 五〇七点

平成二六年九月、二八年一月、七月、八月、二九年七月、一〇月と数度にわたって借用又は来室時に調査を行った近世・近代文書である。所蔵者は収集家・郷土史家であり、過去に絵葉書類一四点を市史編さん室に寄贈していた。ただし(寄贈文書・資料の紹介『熊谷市史研究』第七号、平成二七年)。今回、新たに二点の寄贈を受け、計五二二点のうち一六点は、市史編さん室蔵となる。

本文書群は、近世三四四点で、それ以外は明治期以降の文書のため、近世文書中心の文書群といえる。初見は慶長一三年(一六〇八)「武州忍領之内西別府郷屋鋪御検地帳」(二冊)である。西別府村、上須戸村、玉井村の文書がまとまっており、熊谷市域(上川上村、三ヶ尻

村、柿沼村、平塚新田等)と埼玉県域(市外)に分別できる。西別府村、上須戸村(名主須藤家)関係は近世のものが多く、玉井村関係は明治期の死亡届などが多い。

本文書群は、調査を終えた後、令和元年九月に所蔵者へ返却した(寄贈一六点は市史編さん室蔵)。

(文責 水品 洋介)

妻沼小島赤石嘉孝家文書 一二二点

平成三一年二月に借用した近世・近代文書である。本文書群は田島通明氏が購入したものであり、元は赤石家にあつたものと思われる。本文書群は近世が二点と少なく、大部分が近代文書である。初見は、年代が判別するものとして、慶応四年(二八六八)「質地証文之事」がある。赤石家は、明治期の小島村の村会議員、男沼村連合戸長役場の村会議員を務めた関係から、村政や地主関係の文書が伝来している。特に、男沼村連合村会の議案が散見し、村費徴収規則や会議費予算、議事細則などがある。地主関係では地所売渡証が多数あり、赤石家が買受した場合のものが大半であった。ちなみに、明治一七年(一八八四)の赤石家の土地は四町余であったことが

わかる。本文書群は、近代妻沼小島の村政・地主関係の一齣を示す文書群といえよう。

本文書群は、令和元年九月、購入した田島氏へ返却した。その後、田島氏から赤石家へ文書を戻していただいた。

(文責 水品 洋介)

上根 高橋新衛家文書(追加分) 二点

令和元年一〇月、所蔵者が市史編さん室に入室された際に調査した資料二点である。本文書群については過去に現地調査した二点があり(『熊谷市史研究』第八号、平成二八年)、合計四点となる。一点は渡辺崋山の書で、崋山芦雁ノ図。もう一点は、昭和二〇年(一九四五)秋「家訓及当家重要記録」である。崋山書の真贋は不詳であるが、家訓は戦後間もない時期に当時の当主高橋新右衛門が記したもので、大変貴重である。

本文書群は、調査を終えた後、所蔵者へ返却した。

(文責 水品 洋介)

弥藤吾年代廓所蔵資料 二点

令和元年一一月に借用した資料群である。軸装の紙本

着色「大黒天像」は、甲子にあたる大正二三年(一九二四)に弥藤吾王子廓の森文敬によって描かれた。

年代廓には、寛政六年(二七九四)に弥藤吾村中によって造立された石造大黒天像があり、現在でも春秋二回、お堂の扉を開き、提灯や掛軸を掲げ、五目飯やけんちん汁等をお供えする祭りが行われている。戦前まで「喰講」と呼ばれる大食いを競う行事が行われていたが、太平洋戦争中に中止になったという(熊谷市教育委員会編『熊谷市史(妻沼地域編)』調査報告書第五集 民間信仰・口頭伝承)、平成二〇年)。本資料は、現在でも廓を東西に分け、各家に持ち回ってお祀りしている。

付属する「子供養当番帳」は、年代西廓の春秋大黒天祭祀の当番を記したもので、昭和一六年(一九四一)から二九年までの間を除き、大正八年旧十月二十三日から現在まで、百年以上にわたり書き継がれている。

本資料群は、令和元年一二月に年代廓に返却した。

(文責 蛭間 健悟)

日向増田家文書 二、二七七点 一二四頁参照

横浜市 山本郁夫氏寄贈資料（追加分） 三点 一二六頁
参照

江波 関矢家文書 二点 一二八頁参照

妻沼 茂木高之氏寄贈資料 三六点 一二九頁参照

上之 小沼正枝家文書 一点 一三一頁参照

最後に、古文書の調査をさせていただきました所蔵者、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

II 埼玉県行政文書調査報告

埼玉県行政文書調査は、平成二四年度に着手し、本年度も継続中である。

本年度は、『熊谷市史料集6（神社・寺院・堂庵明細帳）』を刊行する予定のため、校正段階での原本確認調査を予定している。

今後は、熊谷地域の行政文書を中心に収集を検討していきたい。

（文責 水品 洋介）

III 新聞記事調査報告

新聞記事調査は、平成二四年度に着手し、現在も継続調査中である。

今年度は、昨年度までに調査・収集した分で手付かずの作業を優先的に行った。まず、東京日日新聞（現毎日新聞）埼玉版の写真整理作業を行い、すべて終了した。次に、埼玉県立文書館に複写本がある国民新聞埼玉版の記事見出し目録の作成及び収集（写真撮影）・整理に關し、未調査だった大正三年（一九一四）一月から同一年一月分を行い、すべて終了した（追補版含む）。次に、同じく埼玉県立文書館に複写本がある埼玉新報の調査を開始した。明治三九年（一九〇六）から大正三年一二月までの収集（写真撮影）・整理は終了したが、記事見出し目録の作成は三年分までとなった。残りについては、来年度の完了を予定している。ちなみに、新聞記事目録は、

一二月の段階で八五、四八一点となっている。

また、埼玉新聞は、熊谷関係をすべて収集する予定であり、検索結果の目録化、未収集分の確認に着手した。作業の目的がつき次第、熊谷市立図書館、埼玉県立文書館などでの収集作業を予定している。

(文責 水品 洋介)

IV 行政文書の整理・保存

市史編さん室では、熊谷市文書管理規程に基づき保存年限が満了した行政文書が廃棄される際に、歴史公文書等として重要な文書を収集・保存している。

本年度は、平成三十一年三月末で保存年限が満了する文書から、保存箱数で一〇三箱分の行政文書を収集した。対象は、保存年限が五年及び一〇年のものである。また、三〇年保存（永久保存から変更）の中から廃棄となった九箱を収集した。

収集後の整理作業は、平成三〇年分の一一〇箱の整理が終了して、新調した中性紙保存箱で五九箱となった。

また、今年度は、文書保存箱の移動作業を行った。市史編さん室及び旧妻沼清掃センターから大里文化財整理所に、保存年限が満了した平成一九年度、二〇年度、二八年度、二九年度、及び三〇年度の保存箱を移動した。また、平成二七年度、二九年度、及び三一年度移管分の永久保存文書についても中性紙箱に詰め替え、併せて移動を行った。詰め替え後の箱数は、二七年度分が一六一箱、二九年度分が八八箱、三一年度分が二〇箱となった。今後は、廃棄文書の受入態勢、保存場所、整理人員の確保等が課題として挙げられる。

(文責 水品 洋介)

V 市政宅配講座等への派遣

平成三十一年・令和元年

一月二三日 中央公民館 担当 栗原

中央公民館主催講座「熊谷宿ゆかりの人々」

二月一七日 秦公民館 担当 栗原

秦村の歴史講座「秦村の歴史3 江戸時代の葛和田河

岸」

二月一八日 騎崎屋 担当 蛭間

妻沼まちづくり工房 齋藤実盛公の生涯と功績を学ぶ

会「齋藤別当実盛 1」

二月二五日 緑化センター 担当 小林

熊谷雑学研究会 明治一五〇年・雑学から見た「熊谷

の明治維新」セミナー「熊谷宿と石原村の合併の経緯」

二月二五日 大福茶屋さわた 担当 蛭間

妻沼まちづくり工房 齋藤実盛公の生涯と功績を学ぶ

会「齋藤別当実盛 2」

三月四日 大福茶屋さわた 担当 蛭間

妻沼まちづくり工房 齋藤実盛公の生涯と功績を学ぶ

会「齋藤実盛の子どもたち」

三月一日 現地研修会 担当 蛭間

妻沼まちづくり工房 齋藤実盛公の生涯と功績を学ぶ

会「齋藤別当実盛公とその時代の史跡を訪ねる」

三月二五日 緑化センター 担当 水品

熊谷雑学研究会 明治一五〇年・雑学から見た「熊谷

の明治維新」セミナー「那須野が原の開墾に携わった

人々」

四月二二日 星宮公民館 担当 大井（市立熊谷図書館）

市政宅配講座「熊谷直実について」

五月二二日 ものつくり大学 担当 蛭間

行田市民大学同窓会総合記念講演会「荻野吟子の生涯」

六月一日 石原公民館 担当 小林

ふるさと教室「石原地区の歴史」

六月四日 熊谷図書館 担当 蛭間

郷土史講座「齋藤実盛」

六月一六日 秦公民館 担当 水品

市政宅配講座「明治前期の秦地区」

六月二七日 久下公民館 担当 仲泉

市政宅配講座「洪水からみた久下地域の歴史」

八月三日 熊谷図書館 担当 蛭間

直実・蓮生を学ぶ会「実盛紀行・北陸の齋藤実盛と子

どもたちの史跡と伝承をめぐる」

九月二八日 赤城町自治会館 担当 小林

市政宅配講座「石原地区・赤城町周辺の歴史」

十一月十日 秦公民館 担当 小林

市政宅配講座「明治後期の秦地区」

VI 市史編さん業務日誌

【平成三〇年度】

- 1・8 故金谷俊夫氏所蔵刊行物寄贈
- 1・11 埼玉県地域史料保存活用連絡協議会
(以下、埼玉協) 視察研修会(群馬県立歴史博物館ほか)
- 1・21 仏像・仏画専門部会調査(妻沼宝篋堂ほか)
- 1・23 中央公民館主催講座講師派遣(中央公民館)
- 1・24 四方寺吉田康久家資料撮影
- 1・27 刊行物展示・販売(県立嵐山史跡の博物館主催シンポジウム、国立女性教育会館)
- 2・6 文書資料取扱講習会(県立久喜図書館)
- 2・13 文化財レスキュー・防災研修会(県立歴史と民俗の博物館)
- 2・13 仏像・仏画専門部会編集作業・代東善寺調査
- 2・14 立正大学古文書研究会との共同事業、四方寺吉田康久家・成沢福田祀晴家文書搬入搬出(19日、立正大学)
- 2・14 近世専門部会巻担当者会議(立正大品川)
- 2・17 秦村の歴史講座講師派遣(秦公民館)
- 2・18 妻沼まちづくり工房 斎藤実盛公の生涯と功績を学ぶ会講師派遣(騎崎屋)
- 2・22 仏像・仏画専門部会調査(代東善寺ほか)
- 2・25 熊谷雑学研究会セミナー講師派遣(緑化センター)
- 2・25 記者会見(代東善寺木造阿弥陀如来立像について、市役所本庁舎)〔※読売・朝日・毎日・産経・東京・埼玉の各新聞に記事掲載〕
- 2・25 妻沼まちづくり工房 斎藤実盛公の生涯と功績を学ぶ会講師派遣(大福茶屋さわた)
- 2・26 仏像・仏画専門部会調査(小曾根観音堂ほか)
- 2・28 大塚松岡兵衛家資料調査
- 3・4 妻沼まちづくり工房 斎藤実盛公の生涯と功績を学ぶ会講師派遣(大福茶屋さわた)
- 3・6 西城茂木昭夫家文書返却
- 3・7 立正大学古文書研究会との共同事業、四方寺吉田康久家・成沢福田祀晴家文書搬入搬出(12日、立正大熊谷)
- 3・11 妻沼まちづくり工房・斎藤実盛公の生涯と功績を学ぶ会 現地研修会妻沼聖天山ほか)
- 3・12 郷土誌調査(深谷市立図書館)
- 3・19 仏像・仏画専門部会調査(小曾根西光院ほか)
- 3・19 第三回近世専門部会会議(立正大品川)
- 3・21 第二回中世石造物調査会議(商工会館)
- 3・25 熊谷雑学研究会セミナー講師派遣(緑化センター)
- 3・25 川越市個人収集文書返却
- 3・25 『熊谷市史料集5』刊行
- 3・27 熊谷市史編さん委員会(市立熊谷図書館(以下、熊谷図書館))
- 3・27 新座市宮瀧交二氏収集資料返却
- 3・31 『熊谷市史研究 第11号』刊行
- 3・31 『熊谷市史資料編8 近代・現代3(妻沼地域編)』刊行
- 【平成三一年度・令和元年度】
- 4・1 大塚松岡兵衛家資料調査
- 4・16 大塚松岡兵衛家資料調査
- 4・16 刊行物展示・販売(妻沼聖天山御本尊御開扉、20・21日)
- 4・17 仏像・仏画専門部会編集作業(妻沼中央公民館)

4・18	新聞記事調査(県立文書館)			4・18	良公民館	
4・19	埼玉協第一回理事会(県立文書館)			5・27	熊谷町役場文書・新聞記事調査(熊谷図書館)	
4・21	仏像・仏画専門部会編集作業(妻沼中央公民館、御神体調査(俵瀬神社)		5・27	近世専門部会巻担当者会議(立正大品川)	6・14	『熊谷市史 資料編5』に関する人権分野担当編集委員との打合せ(熊谷図書館)
4・22	市政宅配講座(星宮公民館)					
4・23	新聞記事調査(県立文書館)		5・28	市立熊谷図書郷土史講座(熊谷図書館)	6・16	市政宅配講座(秦公民館)
4・30	中世石造物調査(群馬県千代田町光恩寺ほか)					
5・1	中世石造物調査(下奈良集福寺ほか)		5・29	石原塚越忠良家文書返却	6・17	熊谷町役場文書調査(熊谷図書館)
5・8	旧長井村役場建物調査		5・30	新聞記事調査(県立文書館)	6・20	新聞記事調査(県立文書館)
5・9	新聞記事調査(県立文書館)		5・30	保存年限満了了行政文書確認・収集	6・20	『熊谷市史 資料編5 近世3』に関する近世専門部会長との協議(立正大品川)
5・12	刊行物展示・販売(熊谷市郷土文化会総会)		6・1	『熊谷市史調査報告書 直実・実盛伝説』編集打合せ(熊谷図書館)	6・21	市立熊谷図書郷土史講座(熊谷図書館)
5・13	熊谷町役場文書・新聞記事調査(熊谷図書館)		6・3	熊谷町役場文書・新聞記事調査(熊谷図書館)	6・23	仏像・仏画専門部会編集作業(妻沼中央公民館)
5・16	新聞記事調査(県立文書館)		6・4	市立熊谷図書郷土史講座(熊谷図書館)	6・24	仏像・仏画専門部会調査(佐谷田長福寺ほか)
5・20	仏像・仏画専門部会調査(下奈良利永寺ほか)		6・5	保存年限満了了行政文書確認・収集	6・24	熊谷町役場文書調査(熊谷図書館)
5・20	熊谷町役場文書・新聞記事調査(熊谷図書館)		6・6	新聞記事調査(県立文書館)	6・25	新聞記事調査(県立熊谷図書館)
5・21	新聞記事調査(県立文書館)		6・6	旧長井村役場建物調査	6・26	新聞記事調査(県立文書館)
5・21	埼玉協総会・シンポジウム(県立文書館、埼玉会館)		6・8	刊行物展示・販売(妻沼地域文化財調査研究会定期総会、妻沼中央公民館)	6・27	市政宅配講座(久下公民館)
5・22	行田市市民大学同窓会総会記念講演会		6・11	新聞記事調査(県立熊谷図書館)	6・28	市立熊谷図書郷土史講座(熊谷図書館)
5・23	講師派遣(ものつくり大学)		6・11	妻沼台横塚家文書借用	6・28	記者会見(『熊谷市史 資料編8 近代・現代3(妻沼地域編)』の刊行について、市役所本庁舎)〔※埼玉新聞に掲載〕
5・26	立正大学古文書研究会現地発表会(奈良)		6・11	妻沼展示館収蔵庫等薫蒸委託業務入札(妻沼中央公民館)		

- 7・1 熊谷町役場文書調査(熊谷図書館)
 7・1 故鈴木忍氏資料調査
 7・2 新聞記事調査(県立熊谷図書館)
 7・2 市立熊谷図書館郷土史講座(妻沼聖天山)
 7・2 妻沼茂木高之氏収集資料寄附受入
 7・2 江波関矢家文書寄附受入
 7・3 万平町田島武家文書借用
 7・4 新聞記事調査(県立文書館)
 7・4 『熊谷市史調査報告書 中世の石造物』編集打合せ
 7・8 熊谷町役場文書調査(熊谷図書館)
 7・8 万平町田島武家文書返却
 7・8 第一回近世専門部会会議(立正大品川)
 7・11 新聞記事調査(県立文書館)
 7・17 埼玉協・地域史料実務研修会(県立文書館)
 7・18 新聞記事調査(県立文書館)
 7・19 埼玉協・地域史料実務研修会(白岡市)
 7・23 熊谷町役場文書調査(熊谷図書館)
 7・25 新聞記事調査(県立文書館)
 7・25 館林市史・妻沼逸見家文書調査(来室妻沼展示館)
 7・29 熊谷町役場文書・古文書調査(熊谷図書館)
 7・30 妻沼堀越元雄氏収集文書寄附受入
 7・31 仏像・仏画専門部会調査(佐谷田長福寺ほか)
 8・1 新聞記事調査(県立文書館)
 8・3 直実・蓮生を学ぶ会講師派遣(熊谷図書館)
 8・5 熊谷町役場文書・古文書調査(熊谷図書館)
 8・5 故鈴木忍氏資料借用
 8・7 新聞記事調査(県立文書館)
 8・8 立正大学古文書研究会との共同事業
 8・8 四方寺吉田康久家・成沢福田祀晴家・下奈良小林武雄家文書搬入搬出(13日、立正大熊谷)
 8・9 三ヶ尻福島家文書調査・借用
 8・12 熊谷町役場文書・古文書調査(熊谷図書館)
 8・15 新聞記事調査(県立文書館)
 8・15 仏像・仏画専門部会編集作業(妻沼中央公民館)
 8・19 熊谷町役場文書調査(熊谷図書館)
 8・22 新聞記事調査(県立文書館)
 8・22 仏像確認調査(妻沼錦町公民館)
 8・26 熊谷町役場文書・古文書調査(熊谷図書館)
 8・28 近世専門部会第二回巻担当者会議(立正大品川)
 8・29 新聞記事調査(県立文書館)
 7・31 妻沼展示館収蔵庫等薰蒸作業(9・3)
 8・2 妻沼西田園資料調査
 9・2 三ヶ尻篠田美登里家文書返却
 9・3 深谷市奥田豊氏収集文書返却
 9・4 熊谷町役場文書・古文書調査(熊谷図書館)
 9・9 立正大学古文書研究会との共同事業
 9・11 四方寺吉田康久家・成沢福田祀晴家・下奈良小林武雄家文書搬入搬出(17日、立正大熊谷)
 9・17 熊谷町役場文書調査(熊谷図書館)
 9・19 西城長慶寺調査
 9・24 熊谷町役場文書・古文書調査(熊谷図書館)
 9・24 三ヶ尻荻野家文書借用
 9・25 石原塚越忠良家文書返却、追加借用、現地調査
 9・28 市政宅配講座(赤城町自治会館)
 9・30 仏像・仏画専門部会調査(佐谷田永福寺)
 9・30 熊谷町役場文書調査(熊谷図書館)
 10・2 第二回近世専門部会会議(立正大品川)
 10・3 新聞記事調査(県立文書館)
 10・6 中世石造物調査(茨城県古河市)
 10・7 熊谷町役場文書調査(熊谷図書館)

10・7	熊谷市郷土文化会中央班自主調査研究会（中央公民館）	11・19	歴史公文書、刊行物等移動（旧妻沼清掃センター）大里文化財整理所（21日）
10・7	『熊谷市史調査報告書 中世の石造物』編集打合せ（妻沼展示館）	11・27	近世専門部会第三回巻担当者会議（立正大品川）
10・8	上根高橋新衛家文書追加調査	11・30	妻沼歴史町歩きコーディネーター派遣（妻沼聖天山ほか）
10・9	上中条中村一郎家文書一部返却	12・2	熊谷町役場文書調査（熊谷図書館）
10・15	熊谷町役場文書調査（熊谷図書館）	12・4	『熊谷市史調査報告書 中世の石造物』編集打合せ（妻沼展示館）
10・15	永井太田浦部家仏像ほか資料調査、古文書借用	12・5	新聞記事調査（県立文書館）
10・19	中世石造物調査（狭山市慈眼寺）	12・8	長慶寺・北関東社寺彫刻シンポジウム、棟札返却（西城長慶寺）
10・23	熊谷町役場文書・古文書調査（熊谷図書館）	12・10	妻沼長谷川家文書返却
10・24	埼玉協第二回理事会、主管課長等研修会（県立文書館）	12・15	第一回近代専門部会会議（市役所本庁舎）
10・28	熊谷町役場文書・古文書調査（熊谷図書館）	12・16	熊谷町役場文書調査（熊谷図書館）
10・28	上中条筑井繁雄家文書借用	12・16	熊谷市郷土文化会中央班自主調査研究会（中央公民館）
10・30	仏像・仏画専門部会調査（妻沼聖天山ほか）		
11・6	第一回熊谷市史編さん委員会（商工会館）		
11・10	市政宅配講座（秦公民館）		
11・11	仏像・仏画専門部会調査（上中条川北神社ほか）		
11・18	熊谷市郷土文化会中央班自主調査研究会（市内星川周辺）		
11・18	中世石造物調査（熊谷図書館ほか）		

※本業務日誌は、事務局が関わったものについて記載しています。